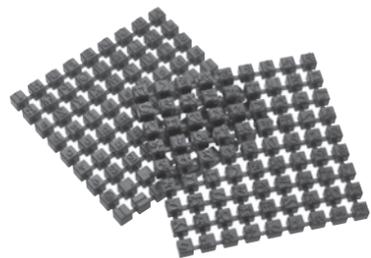


小さな活版印刷機



活字の種類



162個の活字があります。縦にも横にも使えますが、拗促音・読点・音引は、縦と横の2種類があります。句点（。）は角度を90度変えると、縦横に使えます。
※活字は追加注文ができます。
くわしくは54ページをご覧ください。

秀英明朝 M

あ	い	う	え	お	か	き	く	け
こ	さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ
て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ
ふ	へ	ほ	ま	み	む	め	も	や
ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ゐ
ゑ	を	ん	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ざ
じ	ず	ぜ	ぞ	だ	ぢ	づ	で	ど
ば	び	ぶ	べ	ぼ	び	ぶ	べ	
ぼ	や	ゆ	よ	つ	や	ゆ	よ	つ

← 横組み用 縦組み用 →

Century

A	B	C	D	E	F	G	H	I
J	K	L	M	N	O	P	Q	R
S	T	U	V	W	X	Y	Z	a
a	b	c	d	e	e	f	g	h
i	i	j	k	l	m	n	o	o
p	p	q	r	s	t	u	u	v
w	x	y	y	z	1	2	3	4
5	6	7	8	9	0	,	.	@
!	?	-	-	、	、	。	—	！

横 縦 縦 横 縦

とじこみ印刷用紙の種類と使い方

【キャピタルラップ 120g/m²】

片面は光沢加工され、裏側は和紙のようなラフな感触の紙です。裏表どちらにも印刷が可能です。

【ハーフエア・コットン 209.4g/m²】

自然でやわらかな風合いを持ち、名前のとおり、半分空気を含んだような軽やかな紙です。

1. ミシン目を使って、本誌から切り取る。
2. 紙の寸法表を参考に、好きな大きさ、形に切り抜く。

紙の寸法表
目安としてご利用ください。

名刺：W91 × H55mm

コースター（角丸）
W90 × H90mm

コースター（丸）：直径 90mm

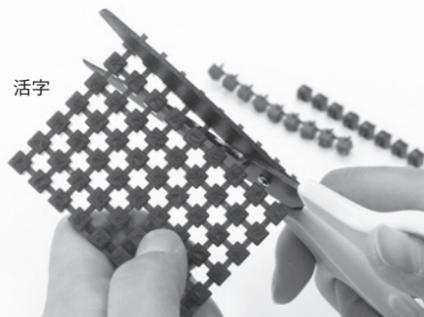
はがき：W100 × H148mm

しおり（小）：
W30 × H85mm

しおり（大）：
W40 × H130mm

①活字をハサミで切り離す

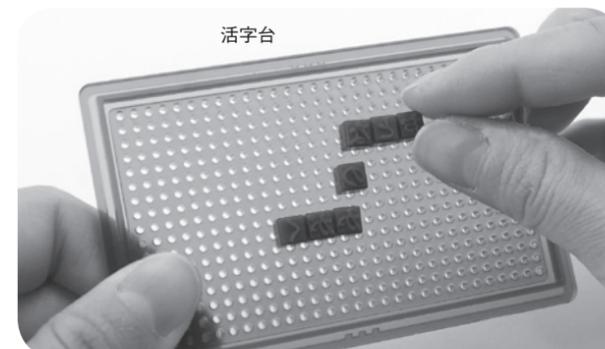
活字



バリが残らないようにていねいに切り取る。
バリがあると活字の高さが揃わず、うまく印刷できない。

②活字を活字台にセットする

活字台



活字台には、横15 × 縦9の135個の活字を並べられる。
活字が外れやすい場合は、小さく切った両面テープを活字の底に貼って、外れにくくする。

③インキ台に吸取紙をセットする

※ストッパーの先端を押し上げるようにして外す。



インキ台の裏のストッパーを押しこんで、本体から外す。吸取紙をインキ台と本体の間にはさみこみ、セットする。

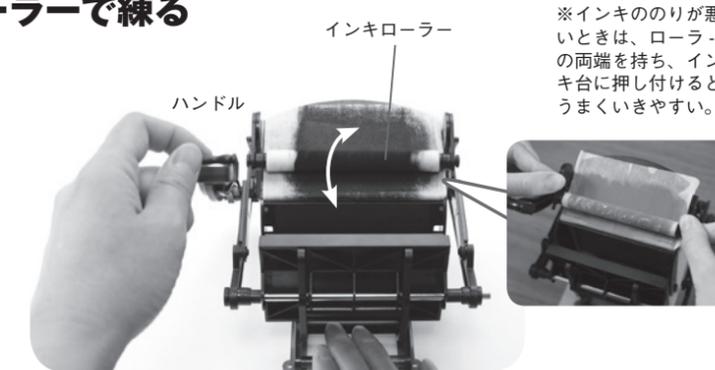
④吸取紙に水をたらし、インキ台に貼り付ける



※水をつけすぎない。
うっすら湿る程度でよい。

吸取紙全体にスポイトで水をうすくたらし、吸取紙をインキ台に貼り付ける。

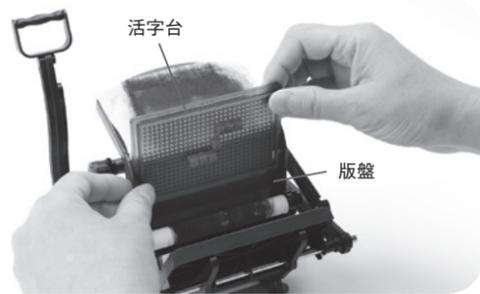
⑤インキ台にインキをのせ、インキローラーで練る



※インキのりが悪いときは、ローラーの両端を持ち、インキ台に押し付けるとうまくいきやすい。

ハンドルを前後させて、インキローラー全体にインキがのるまで練る。

⑥活字台を版盤にセットする



ハンドルの位置を上にした状態で、活字台を版盤にセットする。

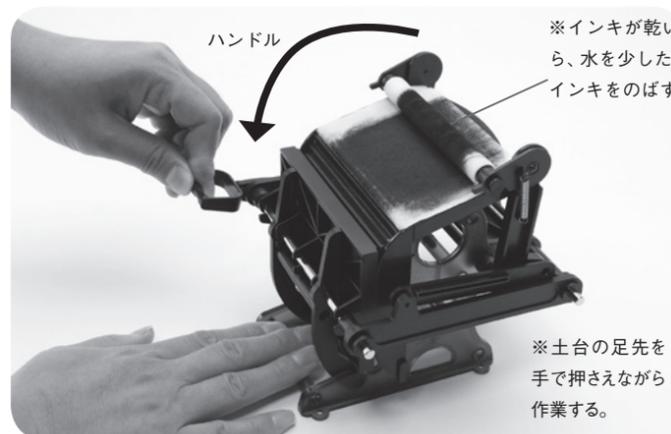
⑧圧盤に紙をセットする



※試し刷りは画用紙など、少し厚めの紙を名刺サイズ(91×55mm)に切って使うとよい。

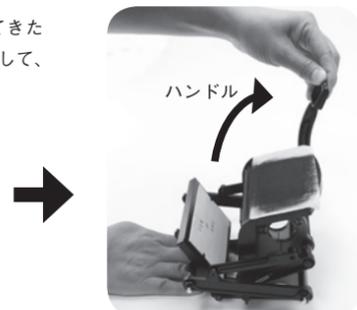
圧盤のマットと紙押さえのすき間に試し刷り用の紙を入れる。名刺より大きい紙の場合は、紙押さえを外してから紙を入れる。

⑨ハンドルを下まで倒してプレスする



※インキが乾いてきたら、水を少したらし、インキをのばす。

※土台の足先を手で押さえながら作業する。



※試し刷りがうまく印刷できたところで、とじこみの用紙などを使って、本番用の印刷を行う。

ハンドルを下に倒す。ハンドルが平行になるまで倒すと、活字が紙に印刷される。ハンドルを上げて、紙を取り出す。

できあがり

おとな
の
かがく

⑦活字にインキをのせる



ハンドルを上にあげると、インキローラーが活字の上を転がって、インキが活字にのる。活字にインキがしっかりのるよう、最初は何度も行ったり来たりさせる。

※上からのぞいて、すべての活字にインキがのっていることを確認する。



ふろくのメンテナンス

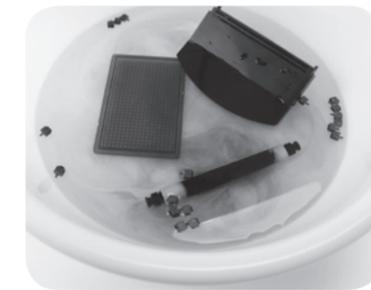
インキの代用品

インキは、水彩絵の具で代用可能です。例：「サクラマット水彩マルチ(サクラクレパス)」や「べんてるエフ水彩(べんてる)」など。



本体の保管方法

使い終わったら、インキ台、インキローラー、活字台、活字をぬるま湯で洗い、乾かしてから保管してください。

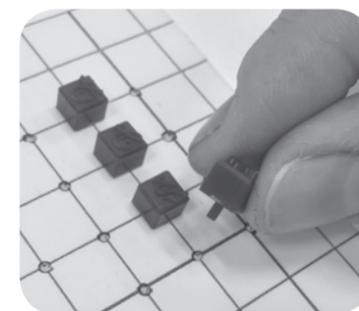
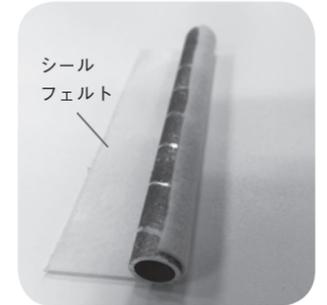


吸取紙の代用品

吸取紙は、不織布やキッチンペーパーをW100×H75mmに切り取って、ご使用ください。

ローラーのフェルト交換

100円ショップや手芸店にある「シールフェルト」を95×35mmに切り取り、古いフェルトを剥がしてからローラーに巻いてください。

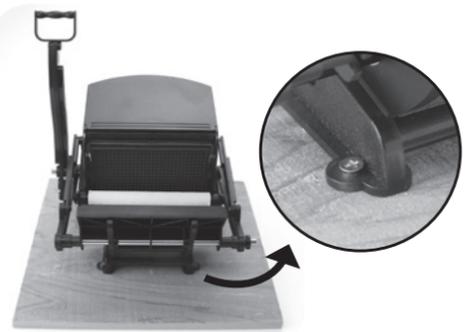


活字の保管方法(例)

のり付きパネルに紙を貼り、小さく穴を開けてから、活字を差すと落ちにくく、見やすいので整理しやすくなります。

台の取り付け

土台には底面に対して、ねじを通す穴が4か所空いています。木材などで台を用意すると、印刷機を固定することができます。



Q: うまく印刷できない。

A: ①活字の高さが揃っていないか確認してください。高さが揃っていない場合は、活字を押しこんでください。

②インキが全体にのっているか確認してください。のっていない場合はインキを練り返し、活字にぬってください。

③凹凸が強すぎる紙はうまく印刷できません。平滑な紙を

ご使用ください。

④印刷用紙の裏に紙などを入れて高さを調節すると、圧が強くなり、強めに印刷できるようになります。

Q: 活字にうまくインキがのらない。

A: ①活字を切り離した際のバリが残っていないか確認してください。バリがある場合は、版面の高さや角度が変わり、ローラーがうまく活字に当たりません。はさみでバリをきれいに切り取ってください。

②ローラーがインキ台に対して、平行になっているかご確認ください。平行でない場合は、ローラーの片側が浮いて、うまくインキがのりません。アームユニットを前後に動かして平行にしてください。

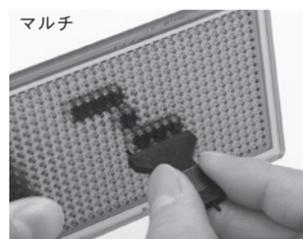
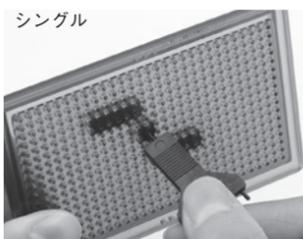
③ローラーをとりつけているフック(アームユニットのカギ状の部分)のつば付きネジをゆるめてください。スプリングがよく働くようになり、インキのつきがよくなります。

Q: 活字が外れる

A: 両面テープを小さく切り、活字の底に貼って固定してください。

Q: 印刷の文字がつぶれる

A: 活字につくインキの量が多すぎると文字がつぶれてしまいます。試し刷りをして、うまく印刷できたら、本刷りをしてください。



活字の外し方

活字台の裏側から、活字外し器のピンで押し出す。ピンは一つを押し出すシングルと、一度に4つを押し出せるマルチがある。

